

専門紙誌5社2024共同キャンペーン 地域が創る復興・活性化の未来図～大災害の教訓から

新潟県中越地震からの復興が残したものの

坂口隆夫・市民防災研究所理事・特別研究員に聞く



観光経済新聞、東京交通新聞、塗料

報知、農村ニュース、ハウジング・トリビュンの専門5紙誌では、防災・復興をテーマとした連携企画「地域が創る復興・活性化の未来図」大災害の教訓から」を展開中です。過去の大規模災害を取り上げ、専門家へのインタビューを通じ、地域・産業復興のあり方を探ります。第2回は2004年10月23日の「新潟県中越地震」。

市民防災研究所の坂口隆夫理事・特別研究員に話を聞きました。併せて、各紙誌の切り口で、被災当時の状況や最新の動きをレポートします。

— 新潟県中越地震（2004年10月）の特徴と、一般的に被災・復興から得られる教訓について伺いたい。

— 新潟中越地震では余震の多発が起られた。10月23日午後5時30分に本震が起き、震度6強の大きな余震が午後6時45分、震度6弱の地震が午後7時、震度6弱の地震が午後7時45分に発生した。体で感じる揺れが、当日だけで164回発生した。2006年5月までの1年半で、震度1以上の余震が数えられ、死者が68人、死者のうち、関連死が22人、被災者のうち、中には、屋内での避難を嫌がり、車やテント、ビニールハウスで暮らしていた人が多く、中での生活によってエコーノミクス症候群（肺血腫）や精神障害等が多発した。また、群衆が逃げ遅れ、けがや死亡者も発生した。また、群衆が逃げ遅れ、けがや死亡者も発生した。

観光地の災害時への備え 備蓄と非常電源の点検を

観光地の災害時への備え、備蓄と非常電源の点検を。断され、すぐに来られない。自助では何をすべきか。

— 自助では何をすべきか。断され、すぐに来られない。自助では何をすべきか。

— 自助では何をすべきか。断され、すぐに来られない。自助では何をすべきか。

坂口 隆夫氏（さかぐち りゅうお） 長年、歴任、2007年退職。たかむら公益財団法人市民防災研究所理事・特別研究員。1947年8月生まれ（77歳）、長野県出身。67年、東京消防庁に入り、麻布消防署5月以前の建物には、補助金を出すが確認されるまで移動するのは建物全部か、一部の部屋だけか、予算をどう考えていくか、試算を考えて決めていく。

— 自助では何をすべきか。断され、すぐに来られない。自助では何をすべきか。

— 自助では何をすべきか。断され、すぐに来られない。自助では何をすべきか。

— 自助では何をすべきか。断され、すぐに来られない。自助では何をすべきか。

私たちは地域を元気にする取り組みを応援します

MISAWA
塗り替え塗料は水谷ペイント

100年の歴史と安心・高性能な塗料品質

MIZUTANI
水谷ペイント株式会社

〒532-0006 大阪市淀川区西三国4丁目3番90号
TEL: (06)6391-3151 FAX: (06)6393-1101

省力化・快適・健康・安全・安心
環境性向上・資産価値の向上

エスケー化研は、技術革新を推進し、未来へつながる新型製品を提供し続けます。

エスケー化研株式会社
SKKAKEN

社：大阪府堺市東区中津 3-5-25 TEL:072-621-7733

SAKURA QUALITY

観光業・DMO・DMC等との共同品質認証制度

宿泊施設の「価値」には様々な要素があります。ホテル旅館不動産価値、事業価値、宿泊単価、顧客満足、従業員満足、社会的貢献度、地域性、文化発信力、安全安心要素、ネットワークのハブ機能…私共は徹底して、宿泊施設の「価値」を追求します。サクラオリティは、観光業、DMO等との共同プロジェクト「宿泊施設品質認証制度」であり且つ品質向上プログラムです。

一般社団法人 観光品質認証協会
URL: <https://www.sakurastay.com/>

ATOMIC

日本イトミックは
クリーン＆グリーン電気給湯
で地球に優しい給湯の普及に努めます

化石エネルギー 重油やガスをを用いた燃焼系の給湯
電気エネルギー CO2を排出せずクリーンな電気給湯

日本イトミックは電気給湯にこだわり、地球を汚すことのない「クリーン＆グリーン電気給湯」の普及に努め、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて給湯分野で貢献します。

株式会社日本イトミック
URL: <https://www.itomic.co.jp/>

省エネで快適な住生活を
グラスウール断熱材で実現する

安全・安心の国内・自社工場
原料に90%以上のリサイクルガラスを採用し生産しています。
空き缶や使用済みの窓ガラス等のリサイクルガラスを原料としているため資源の再利用にも貢献する地球に優しい製品です。

見えないところで健康で快適な住環境の実現に貢献します。
オフィスビルや商業施設等の省エネ化、音環境改善を通して快適空間を創造します。

住居・断熱用途 建築・内装・設備用途 設備・保守・保冷用途

人と住まわいのあいだに
パラマウント硝子工業株式会社
www.pmcg.co.jp

日本農業機械工業会は、
農業の健全な発展と食料安全の確保を
応援しています。

建設、環境機器、農林業のバイオニア
諸岡は地方創生を応援します

MOROOKA 環境と共に生きる

株式会社諸岡 茨城県竜崎市庄兵衛新田町358
TEL: 0297-66-2111
<https://www.morooka.co.jp>

発電機は欲しいけど
今度でいいかな...
後で考えよう
になってませんか?

発電機導入のベストサイズを
— 手にお受けします。

停電対策ソリューション
カグラヘーバーテック株式会社

オールクラウド型タクシー配車システム

CABmee

タクシー配車が
“変わる”

効率的な
配車仕組み作りを

CABmee で検索!

JVCKENWOOD

各紙誌の視点で見ると新潟県中越地震からの復興

新幹線代行輸送にバス タクシーは避難者の足担う

新潟県中越地震で、上越新幹線は1964年の新幹線開業以来初の脱線事故を起こし、全面復旧まで約2カ月を要した。その間、東京・新潟間の人の移動をバスが支え、タクシーは被災地で避難者の暮らしの足として活躍した。

代行輸送が始まった。越後交通は長岡・越後湯沢の約90分の区間を担い、バス会社の調整も含め、中心街の乗降場を確保し、乗客の利便性を確保した。

また、タクシーは被災地で避難者の暮らしを支え、バスが支えきれない部分をカバーした。タクシーは被災地で避難者の暮らしを支え、バスが支えきれない部分をカバーした。



バスの車内に設置された臨時の事務所（2004年10月26日、新潟県長岡市）

バスは、被災地で避難者の暮らしを支え、タクシーは被災地で避難者の暮らしを支え、バスが支えきれない部分をカバーした。

また、タクシーは被災地で避難者の暮らしを支え、バスが支えきれない部分をカバーした。

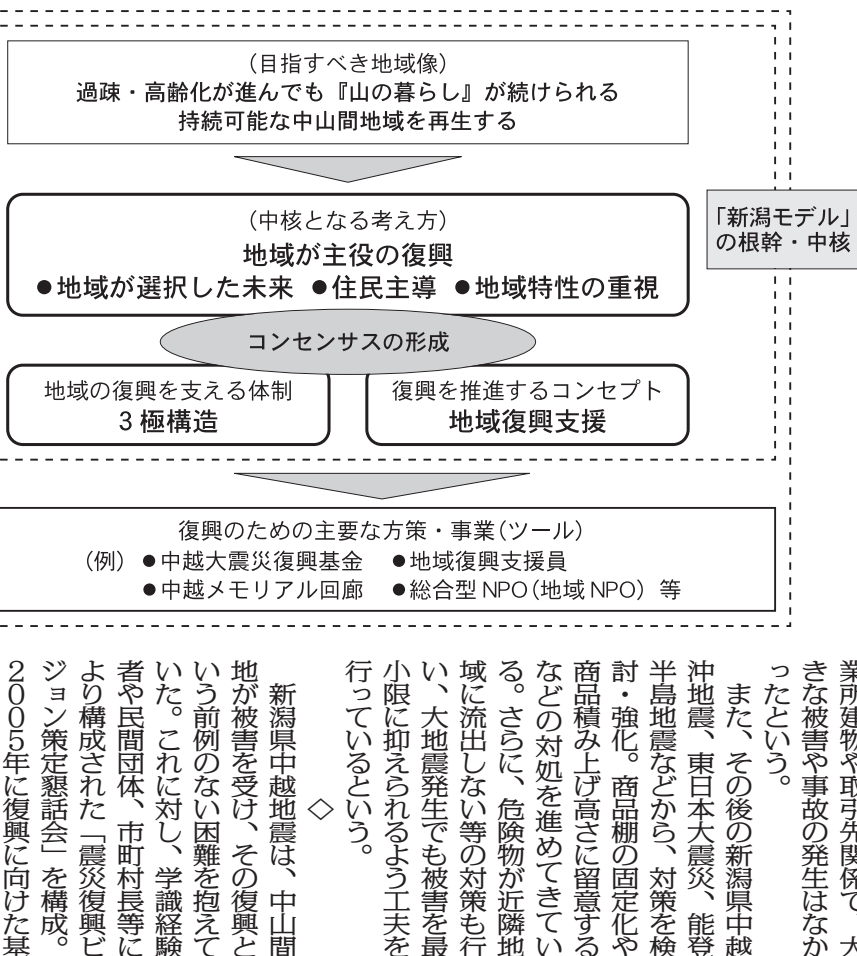
「新潟モデル」を発信 復興・再生の知見まとめ

新潟県中越地震において、復興・再生の知見をまとめた。

また、タクシーは被災地で避難者の暮らしを支え、バスが支えきれない部分をカバーした。

新潟県中越地震は、中山間地が被災を受けた。復興・再生の知見をまとめた。

また、タクシーは被災地で避難者の暮らしを支え、バスが支えきれない部分をカバーした。



を再認識し、全車に携帯電話を準備し、沿岸部の柏崎にも営業所があり、津波が起きた際の避難先も確保していた。タクシーは被災地で避難者の暮らしを支え、バスが支えきれない部分をカバーした。

また、タクシーは被災地で避難者の暮らしを支え、バスが支えきれない部分をカバーした。

「温泉の灯を消すな」 同業者が結束、営業再開

新潟県中越地震の被災地に、温泉業者が結束して営業再開を目指した。

また、タクシーは被災地で避難者の暮らしを支え、バスが支えきれない部分をカバーした。

新潟県中越地震の被災地に、温泉業者が結束して営業再開を目指した。被災地の温泉業者は、被災地の復興を支援するために、同業者と結束して営業再開を目指した。

また、タクシーは被災地で避難者の暮らしを支え、バスが支えきれない部分をカバーした。

農業基に創造的復興 担い手中心に生産が組織化

新潟県中越地震からの復興を支援するために、農業基に創造的復興を目指す。

また、タクシーは被災地で避難者の暮らしを支え、バスが支えきれない部分をカバーした。

新潟県中越地震からの復興を支援するために、農業基に創造的復興を目指す。被災地の農業業者は、被災地の復興を支援するために、担い手中心に生産を組織化した。

また、タクシーは被災地で避難者の暮らしを支え、バスが支えきれない部分をカバーした。

新潟県中越地震からの復興を支援するために、農業基に創造的復興を目指す。被災地の農業業者は、被災地の復興を支援するために、担い手中心に生産を組織化した。

また、タクシーは被災地で避難者の暮らしを支え、バスが支えきれない部分をカバーした。



液状化が起る中、砂が噴出した被災地（魚沼市（旧堀之内町）、新潟県資料より）

液状化が起る中、砂が噴出した被災地。被災地の復興を支援するために、農業基に創造的復興を目指す。

また、タクシーは被災地で避難者の暮らしを支え、バスが支えきれない部分をカバーした。

応急仮設のモデル示す 中山間・積雪の被災地で

新潟県中越地震からの復興を支援するために、中山間・積雪の被災地で応急仮設のモデルを示す。

また、タクシーは被災地で避難者の暮らしを支え、バスが支えきれない部分をカバーした。

新潟県中越地震からの復興を支援するために、中山間・積雪の被災地で応急仮設のモデルを示す。被災地の復興を支援するために、中山間・積雪の被災地で応急仮設のモデルを示す。

また、タクシーは被災地で避難者の暮らしを支え、バスが支えきれない部分をカバーした。



3館の女将。左から和泉屋・田崎久子さん、蓬菜館福引屋・諏訪利江さん、よもやま館・田中郷子さん

新潟県中越地震からの復興を支援するために、中山間・積雪の被災地で応急仮設のモデルを示す。被災地の復興を支援するために、中山間・積雪の被災地で応急仮設のモデルを示す。

また、タクシーは被災地で避難者の暮らしを支え、バスが支えきれない部分をカバーした。

建設型応急仮設住宅の建設数

市町村	建設数	市町村	建設数
長岡市	840	魚沼町	30
山古志村	632	十日町市	138
見附市	103	川西町	15
栃尾市	105	柏崎市	44
小千谷市	870	小国町	118
越路町	114	刈羽村	39
川口町	412	計	3460